

科目	経営組織論	担当	秋山 健太郎	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

近年、企業の競争環境においては、戦略行動、イノベーションに組織が及ぼす影響が極めて大きい。そこで本講義では、経営組織論の基礎概念を習得することを目標とする。また、現状と将来における課題を整理し、まとめる力を身につけることを到達目標とする。

【履修注意】

- ・講義でWBT(e-text)を活用するため、必ずパソコンを持参する。
- ・自ら進んで意欲と熱意を持って経営組織論を学び、考える習慣を身につけてほしい

【評価方法】

- ・期末試験と中間まとめの結果を勘案して評価する(期末70%, 中間30%)。
- ・無断で5回以上欠席すると単位はとれない。

【試験について】

- ・期末試験と中間試験の実施。
- 再試験対象者の条件: 期末試験と中間試験を受験した卒業年次生で、中間・期末試験の合計が40%以上のものを対象者とする。

【予習・復習】

WBTで配信したe-textにより、予習、復習を行う。

【教科書】

- ・購入教科書なし。
- ・WBTでe-textを配信する。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	組織論の視点	組織研究の進展と視点の変化, 本講義の構成
2	経営組織の特徴と基礎概念	組織の定義, 組織の編成原理, 組織の多様性
3	組織論の体系と伝統的組織論	組織論の系譜, テイラーシステム
4	伝統的組織論と人間関係論	ファヨール, ホーソン実験
5	近代的組織論	バーナード, サイモン
6	経営組織の構造	職能別, 事業部制, プロジェクト, マトリックス, 持株会社制組織等
7	モチベーション論	動機付け・衛生要因理論, ポーターとローラーの期待値理論等
8	中間まとめ	組織論の基礎と組織運営, 組織課題に対する諸施策のまとめ
9	リーダーシップ論(1)	資質理論, ミシガン・オハイオ研究, マネジアルグリッド論, PM理論
10	リーダーシップ論(2)	フィドラー, ハーシー&ブランチャード, 変革型理論
11	組織文化	ディール&ケネディ, シャインの企業文化論, 企業文化の価値創造
12	組織学習	シングルループ・ダブルループ学習, 個人学習から組織学習へ
13	組織間学習	組織間学習とは, 資源パースペクティブ, 組織間関係論
14	コンティンジェンシー理論	コンティンジェンシー理論, その限界
15	経営戦略論	アンソフ, ポーターの戦略論
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ